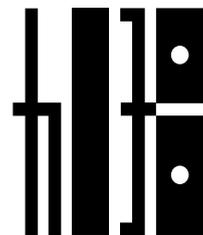


KASHIMO PAPER

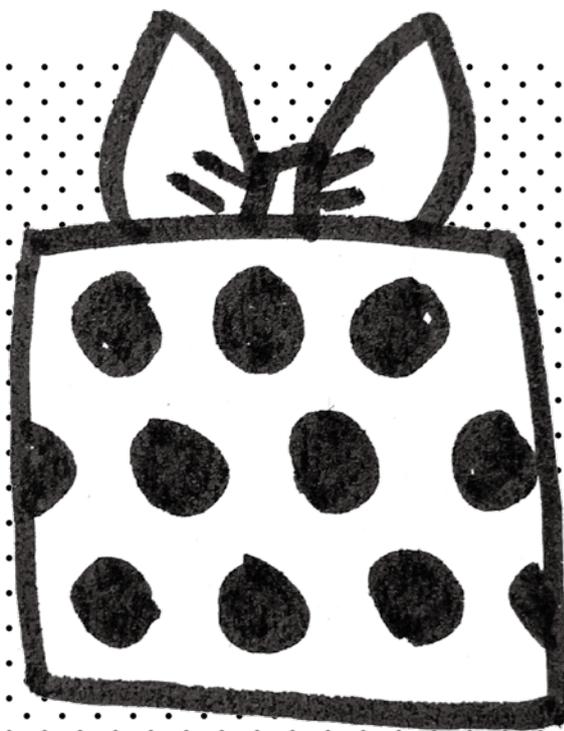
December 2020

Vol.188

monthly issue.



かしも通信



特集 歌舞伎クラブ

新生「歌舞伎クラブ」活動開始。
やっぱり歌舞伎がやりたい



子ども歌舞伎経験者に加え
歌舞伎は初挑戦の子もいます!
子ども9人が挑戦



三ツ山 先生

2年前にもやった
**白浪五人男の
一場面に挑戦!**

全7回の活動を予定

担当教諭
三ツ山順貴、今井淳司 (共に歌舞伎経験者)

歌舞伎保存会
秦雅文、洲崎由彩他



小学校のクラブ活動に、新たに歌舞伎が加わり、歌舞伎保存会も全面協力

新生「歌舞伎クラブ」活動開始。
やつぱり歌舞伎がやりたい

十月の末に小学校から連絡があつて、小学校のクラブ活動に「歌舞伎クラブ」を新たに作りたので協力してもらえないかということでした。毎年九月の定期公演が今年も新型コロナウイルスの影響で中止になってしまいました。毎年歌舞伎をやっている子どもたちも今年はやれなかつたことで、なんとなく元気がないなど、中止の影響は少なからずあつたようでした。

そんな折、普段から歌舞伎に興味を持っていた児童が、歌舞伎をやりたいと言つたことで先生は歌舞伎クラブの発足を思い立ちます。

児童は九月の公演もいつも見ているそうで、先生はそんな児童の願いと情熱を傾ける場所を作つてあげたいと思つたのが、クラブを立ち上げるきっかけになつたのです。

そして歌舞伎保存会に相談があり、私もすぐに快諾しました。しかしやるには言つたものの保存会では自分たちがやるのに精一杯で、これまで人に教える事はしたことがありませんでした。どうやって子どもたちに教えればいいのか、まずは我々の師匠に相談しました。

そしてアドバイスをもらい、「白浪五人男」の一場面を使つてやってみることに決定。

まずは台本を引っ張り出し、過去の映像を見て振り付けをノートに書き出すところから始めます。イメージや振り付けはこれまで何回も見ているので、だいたい大丈夫だろうと思ひ、子どもたちの前へ立ちました。でも、いざ教えるとなると自分になんとか理解できないものは伝えられないことに気がきます。そしてさらに調べて理解しようとする、歌舞伎は奥が深く、新たな発見があります。私も子どもたちと一緒に、歌舞伎にチャレンジしてみようと思つています。

きつと歌舞伎に対する自分の向かい方が変わってくる予感があります。

加子母歌舞伎保存会 秦雅文

わが家のPet!



万賀 安江ぴょんきち君 6才くらい

ボクはウサギの『ぴょんきち』
 加子母小学校で産まれて、小学校のウサギ小屋で育ったんだ。ご縁があって安江さんちに来たんだ。
 ボクの得意な事を教えてあげるね!
 ご主人がゲージの鍵を開けてくれると、ボクはドアを引っ張って開けて自分で出入りできるんだ。自分で開けるから楽しいんだ!
 一週間に一回ご主人がリードを着けて散歩に連れて行ってくれるんだ。最初はリードを着けるのに慣れていなくて、嫌だったんだけど外に行けて楽しいから慣れたんだ。草をムシャムシャ食べたり、外の空気を感じたり出来るから好きなんだ。ボク達ウサギが散歩することを“うさんぼ”って呼ばれているんだ。



コウノトリ

	2019年度		2020年度	
	男	女	男	女
4月	0	0	0	1
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	2	0	1	2
8月	0	0	1	0
9月	1	1	0	1
10月	0	0	0	0
11月	0	3		
12月	0	0		
1月	0	1		
2月	0	1		
3月	0	1		
計	3	6	2	5

(令和2年11月18日現在)

からしお吟社

短歌 荒れた田に耕し置かれぬ一かたへ
 過疎を憂へや 續心し固まる
 短歌 布田(一)路塵のほの跡のゆき
 今昔は動じ誰に伝へぬ
 短歌 散歩に先着袋持し一社(一)
 ばあちの土産し握りし袋を

今井 英雄
 片田 巨谷子
 今井 穂

沢山の事業者さんの協力のもと、 オンラインショップができました! その名も『カシモール』

故郷から離れて暮らす人たちに、『カシモール』を通して加子母の事を思い出してくれたら嬉しいな。なんて願いを込めてお届けします。
 このサイトは、加子母むらづくり協議会が企画し、特定非営利活動法人かしもむら(NPOかしもむら)と加子母広報システムセンター(アリッツ株式会社)が運営しています。

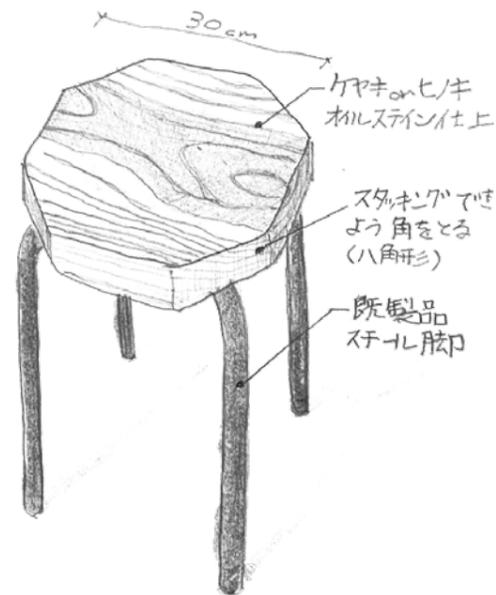


佐野智哉のキツキノート

サイズは小さい面積しか取れなさそうだったため、いらない場合は薪にするのとことで喜んで引き取らせて貰いました。(笑) 小さい椅子の座面に利用できそうだったので、綺麗な木目の木を贅沢に使い、簡易な椅子を10脚ほど作りました。既製品の椅子の座面を変えるだけで、イメージガラッと変わる良い感じですよ。実家に帰った際に家族や友人にも渡すことができ、良いお土産となりました。

仕事現場でも木っ端がいっぱい出てゴミになってしまうのですが、毎回もらって来ては、薪ストーブの燃料にさせてもらっています。生活の中で使わないものを溜め込むことはよくありませんが、うまく有効活用ができると気持ちが良いものです。

今日もアリとキリギリスの話のようにせっせと木を運び、冬に備えるのでした。



お手玉の中身探しに...

「茶畑に茶の実が落ちていたら貰えんかね?」と、兄ちゃんにお願いしたら「古小豆のいらぬのがあんで・・・」と言って2升ほどくださった。それを虫殺しの為に水につけて置いて、よく洗い、ザルに干した。乾くのを待って、縫いかけの袋の中に入れて閉じ縫いすれば、お手玉の仕上がりとなる。出来上がったお手玉は、老人会の月例会にゲームで使う。お手玉のバケツ放り込み大会で、バケツに入っただけその人にあげるという予定。賞品になるお手玉を持って帰る袋は鳥健で10個ほど買ってあるけど、足りなかったら私の縫った袋に入れて入れてもらおうと、今からお手玉大会を想像し



中切 K.Y

て用意しているところです。
 今迄にお手玉を何百個縫ったか・・・皆が孫にやるから欲しいと言われ縫った。続く限り、よどかけと、出来ればマスクも、お手玉も作っていくつもりです。
 これが仕上がってしまったら、友達にお願いして加子母の名所散策をしてカメラにおさめ、老人3.4人でおむすびと共に歩いたら楽しいだろうと想像しています。後日友達にお願いしてみようかと、今日思いました。まるで子供の遊びのようね。



かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介！
食には文化があらわれる。

姉さんの歌舞伎漬物

三年前、かしも食堂を始める時、加子母の大根が赤くなった漬物（ひね漬）を紹介したいと思っていました。しかし、年々漬ける人も減り、ひね漬も食べなくなりました。今回取材すると「やよいちゃん、ひね漬を紹介しても誰も作らんに！」と言われた。確かにそうだけど、加子母の漬物を書いて残さないといけなと思っていました。秋に漬けた漬物を次の年の9月、歌舞伎があるときに封切りので歌舞伎漬物と言うそうです。万賀の姉さんの歌舞伎漬物が美味しいし、上手だと皆さんから推薦していただきました。赤がぶはつるが。大根は関白と言う種を取り寄せて 育てる。11月終わりから12月に漬ける。

材料

カブ 10キ口、大根 10キ口、塩 3カップ、酢 1カップ

作り方

木の桶でないとダメ。何回か追い漬けをする。唐辛子、笹の葉を置いて重しの石をする。重しも大事。汚い水が出てきたら、布でとる。始めて桶を封切り出す解きは、「上手く出来たか楽しみやし心配」と嬉しそうに話して下さいました。「私が生きている内はこの桶で漬ける。漬物が年中行事。生きがい。」と元気に話してくださいました。歌舞伎漬物のファンも沢山いるそうです。忘れない味、絶品です。



加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井やよい ☎ 0573-79-2627

編集後記

歌舞伎クラブが始まって、2回目を終えた。全てが手探りで何をどうするのがいいのかよくわからない。でも子どもたちのやりたい気持ちに何とか答えたい。「白浪五人男」は和傘を使うので明治座の小道具の傘を引っ張り出してみるとあちこち破れてボロボロ。まるでお化けの傘のようになってる。こんなので練習するのいやだろうなー。家に持って帰って傘張りをすることにしました。古い紙を全部とって障子紙を貼ることにした。芝居の小道具なので水に強くする必要はない。これが意外に手間のかかる作業だった。1日に1本か2本張り替えるのがやっとだったけど、次のクラブの時間まで2週間あったのでなんとか間に合った。この芝居の傘には「志ら浪」と書いてあるのがお決まりのようなので、次までには文字も入れようかな。

小郷 けいちゃんの こざと

お持ち帰りも好評です!

Tel: 79-3618
(サブロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財) 岐阜県消防設備協会会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の訪問販売にご注意を!

Tel. 79-2285



かしも通信

2020年11月25日発行 No.188

- Publisher Hara Yuumi
- Editor in Chief Hata Masafumi
- Deputy Editor Honma Kiyoko
- Editors Taguchi Sachiko, Tanaka Hiroko, Sato Yoko, Sano Tomoya, Fukui Yayoi, Susaki Yusa, Fukui Rie
- Correspondent Zenda Nao
- Illustrator Honma Kiyoko



かしもつ子だよ全員集合!



木育~加子母の木について 教えてもらったよ~

10月28日、11月4日の2日間、岐阜県森林環境基金事業の木育の取り組みに年長ぞう組が参加しました。今年度で4年目になります。コロナ禍で保護者の方の参加は出来ませんでしたが、3名の指導員さんと一緒にネイチャーゲーム等を行いました。指導員さん2名は番田の方々に、加子母の木についてわかりやすく説明され、木工の工芸品を触らせて頂きました。家族で使えるようにと、しゃもじづくりも行い、紙やすりでさわらの木を丁寧にこすりまし。加子母保育園の子は沢山の木の名前を知ってるねえと言われて照れていました。皆の住んでいる加子母はこんなにいろんな樹木、草木があって、生活の中に関わっているんだね、と改めて感じた木育でした。



子どものためのクラシックコンサート

11月6日(金)に、明治座クラシックコンサートの出張コンサートが加子母小学校体育館で行われました。本物の音楽を子どもたちに聴かせたいと始まったこのコンサートです。今年も有名なクラシック曲に加え、アニメソングの主題歌など、子どもたちが親しみやすい曲も演奏していただきました。子どもたちは美しく迫力のある音色に聴き入っていました。45分ほどの時間でしたが、バイオリンや、チェロの質の高い音楽を聴くことができ、貴重な時間となりました。



加子母・付知子育て支援センター くるりんぱ

感染症拡大防止対応の『くるりんぱ開放日』を設けています。
詳しくはこちらからご確認下さい。



12月の行事予定

【お願い】現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベント等が中止や延期、規模を縮小しての開催になっています。下記予定も変更等される場合がありますので、ご承知おきください。

1	火	人権相談(13:30~15:30) 【小学校】5年生授業参観 【中学校】VI期スタート
2	水	【小学校】6年生授業参観
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	行政相談(13:30~15:30) 民生児童委員会定例会(19:30~) 【中学校】歯科検診 【中学校】テスト週間 開始
9	水	2歳児個別相談(午前)ふれあいコミュニティセンター
10	木	BCG 予防接種(午後) 付知会場 【保育園】誕生日会
11	金	【保育園】避難訓練・煙体験
12	土	
13	日	大型ごみ・有害ごみ(9~13)
14	月	【保育園】身体測定 【中学校】命を守る訓練(不審者対応)
15	火	
16	水	
17	木	3歳児健診(午後) 付知会場 【保育園】クリスマス会
18	金	農事改良組合長会(19~)
19	土	
20	日	不燃・硬質・資源ごみ(16~17)
21	月	区長会(14~)
22	火	3か月児健診(午後) 付知会場 【保育園】お正月準備
23	水	
24	木	
25	金	【小学校】休み前集会 【中学校】長期休業前集会
26	土	
27	日	公民館・図書室年末年始休館(~/5まで)
28	月	【小学校・中学校】冬休み(~/5まで)
29	火	総合事務所閉庁(~/3まで)
30	水	
31	木	



大変寒くなり、インフルエンザ等が流行する季節になりました。コロナウイルスもまた増加しています。マスクを着用し、手洗い、消毒などこまめに行い、感染予防に努めましょう。

こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

『地球温暖化対策勉強会』が開催されました

11月11日(水)、「今、知ってほしい!地球温暖化と私達ができること」と題して、区長会主催の地球温暖化対策勉強会が、住みよい環境づくり推進員さん、各区の女性役員さんを中心に加子母公民館で行われました。中津川市役所環境政策課の職員を講師に、地球温暖化とは!から始まり、世界中で起きている異常現象、日本・中津川市の削減対策、無理のない省エネライフなどを勉強しました。

図書室だより

【12月おすすめ図書】



■初夏の訪問者(著 吉永南央)

紅雲町にやってきた、親切と評判の五十過ぎくらいの男。ある日彼は小蔵屋を訪ね、草に告げた。「私は、良一なんです」草が婚家に残し、三歳で水の事故で亡くなった息子・良一。男はなんの目的で良一を騙るのか、それとも一。



■アリ語で寝言を言いました(著 村上貴弘)

熱帯の森を這いずり回り、ヒアリに刺されまくった、「アリ先生」による驚愕のアリの世界。「農業をするキノコアリ」「ハキリアリは超おしゃべり」「働きアリは全員メス」「2:6:2」の法則は本当か?…。究極の役割分担社会に進化した、アリはすごい。



■みんなに話したくなる感染症のはなし 14歳からのウイルス・細菌・免疫入門(著 仲野徹)

感染症にかかると身体はどうなる?コロナとインフルエンザはなにが違う?ウイルス、細菌、免疫、ワクチン…。病気とその治療のしくみを、日本一おもしろい生命科学者が、中学高校で習う知識を使ってわかりやすく解説する。



■長くつ下のピッピ 世界一強い女の子が、町にやってきた!

(作 リンドグレーン 編訳 那須田淳)

世界の名作をオールカラーで楽しく読めるシリーズ、第27弾。町のはずれの“ごたごた荘”に、ピッピという元気な女の子が引っ越してきた。となりの家に住むきょうだいたちとなかよくなり、はちゃめちゃで楽しい毎日が始まった。



■わたしのふうせん(絵・文 マリオ・ラモ 訳 原小枝)

お母さんからもらった赤いふうせんを手に、小さなあかずきんちゃん森の奥へ入っていく。「おばあちゃんのお家に向かいましょ」。森の中で出会ったのは、お急ぎのライオン、小さな花束をつくるゾウ、お忍びのキリン、それから…?

加子母の人口と世帯数(令和2年11月1日現在) 世帯数:969世帯 男:1,318人 女:1,373人 計:2,691人